

みやぎオリジナルユリの11月・3月出し促成栽培

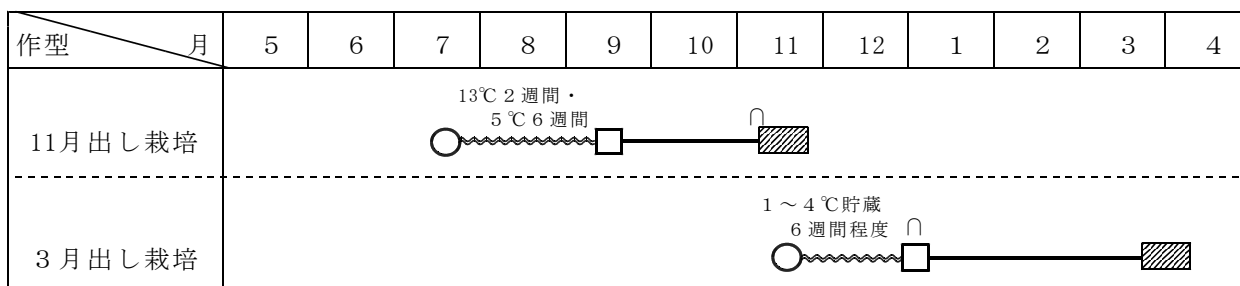
園芸試験場

1 取り上げた理由

みやぎオリジナルユリ「杜の乙女」「杜の精」「杜のロマン」の11月と3月出し促成栽培について検討したところ成果が得られたので普及技術とする。

2 普及技術

- 1) 11月に収穫するには、球根を7月中旬に掘り上げ、13℃で2週間・5℃で6週間低温処理後、9月中旬に定植し、気温10℃以上で管理する。
- 2) 3月に収穫するには、球根を11月に掘り上げ、1～4℃で貯蔵後12～1月に定植し、気温10℃以上で管理する。



凡例 ○：掘り上げ □：植え付け ~~~~：低温処理・貯蔵 ∩：10℃加温 ▨：開花，収穫

図-1 みやぎオリジナルユリの作型

3 利活用の留意点

- 1) 低温処理は球根消毒後湿らせたオガクズやピート等でパッキングする。一連の作業の間球根を直射日光に当てないようにし、貯蔵中は冷蔵温度の変化と乾燥に注意する。
- 2) 11月出し栽培の収穫中に3月出し栽培の球根が低温貯蔵中なので、施設を有効利用できる。
- 3) 3月出し栽培において、蕾長5cmの蕾が開花するのに「杜の乙女」では約10日、「杜の精」では約11～13日要する。
- 4) 11月出し栽培の温湯処理は開花促進効果が期待できない。

(問い合わせ先：宮城県園芸試験場 栽培部 022-383-8132)

#### 4 背景となった主要な試験研究

##### 1) 研究課題名及び研究期間

寒冷地気象を活用した洋花類の作型開発と安定生産技術の確立

平成9年～11年

##### 2) 参考データ

表-1 3月出し促成栽培のための低温処理期間の検討 (1999年)

区	低温処理時		開花時			
	球周 (cm)	球重 (g)	開花日 (月/日)	到花日数 (日)	切り花長 (cm)	花蕾数 (輪)
杜の乙女						
1℃2週間	8	7	3/14	111	43	1.8
1℃4週間	9	8	3/16	103	44	1.7
1℃6週間	9	8	3/23	96	46	1.9
杜の精						
1℃2週間	9	12	3/21	118	59	1.9
1℃4週間	9	12	3/25	111	61	1.7
1℃6週間	8	11	3/30	102	60	1.5
杜のロマン						
1℃2週間	11	16	3/29	125	56	2.2
1℃4週間	11	17	3/26	113	56	1.8
1℃6週間	11	18	3/29	102	64	1.7

<耕種概要>球根を11月上旬に掘り上げ、1℃で低温処理を行った。定植は、2週間処理区が11月下旬、4週間処理区は12月上旬、6週間処理区は12月中旬。

表-2 3月出し促成栽培のための低温処理期間の検討 (1198年)

品 種	低温処理時		開花時			
	球周	球重	開花期	到花日数	切り花長	花蕾数
	(cm)	(g)	(月/日)	(日)	(cm)	(輪)
杜の乙女						
4℃3週間	-	-	-	-	-	-
4℃6週間	8	12	3/23	74	37.0	2.4
杜の精						
4℃3週間	9	18	3/22	91	47.1	3.5
4℃6週間	6	7	4/6	88	46.4	1.4
杜のロマン						
4℃3週間	8	16	3/31	100	43.8	2.4
4℃6週間	7	11	4/9	91	47.5	1.9

<耕種概要>11月下旬に掘り上げ、4℃で低温処理を行った。定植は3週間処理区で12月下旬、6週間処理区で1月上旬。

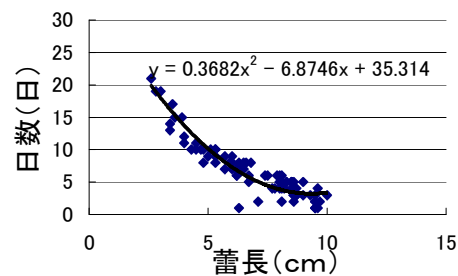


図2 「杜の乙女」の蕾長と開花までの日数(3月)

表-3 11月出し促成栽培のための温湯処理効果の検討 (1999年)

区	低温処理時		開花時		
	球周 (cm)	球重 (g)	開花日 (月/日)	切り花長 (cm)	花蕾数 (輪)
杜の乙女					
温湯処理あり	17	56	11/10	71	2.9
温湯処理なし	16	47	11/11	71	3.2
杜の精					
温湯処理あり	17	45	11/12	83	3.6
温湯処理なし	17	43	11/14	87	3.1
杜のロマン					
温湯処理あり	17	43	11/21	87	2.9
温湯処理なし	18	57	11/24	80	2.8

<耕種概要>球根を7月中旬に掘り上げ、温湯処理区は45℃・1時間温湯処理を行った。その後、13℃・2週間の予冷を行い、続けて5℃・6週間の本冷を行った。定植日は9月中旬である。

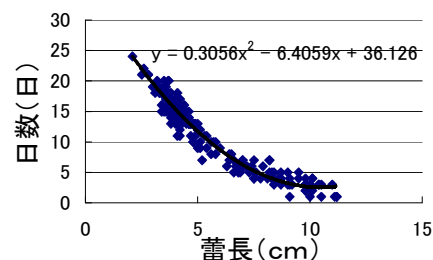


図3 「杜の精」の蕾長と開花までの日数(3月)

##### 3) 発表論文等 なし